

乳がん自己検診手袋

OCHIS 早期発見よびかけ

ヘルスケアネットワーク（OCHIS、武田裕理事長）は、乳がん自己検診特殊手袋「プレストケアグラブ」の販売を通じ、早期発見・治療を呼び掛けている。プレストケアグラブは特殊なビニール性の手袋で、これを装着した4本の指で自分の胸を触診して乳がんチェックができる。肌への密着性が高い素材を使用した特殊な3層構造で、素手よりも異常を感じやすいのが特長。

最近では、タレントの北斗晶さんが乳がんであることを明らかにした。右乳房の全摘出手術を受け、5年生存率が50%と診断されたという。

乳がんは早期発見・治療で治癒率が90%とも言われており、作本貞子副理事長は「乳がんは自分で触って発見できる唯一のがん」と作本理事長（左）



「乳がんは自分で触って発見できる唯一のがん」と作本理事長（左）

発見できる唯一のがん。トラガールの中には家事や子育てをしながら働き、自分の健康を後回しにしている人もいるのでは」と説明。更に、「ストレスが原因で発症しやすくなるとも言われている。病院で検査を受けることも大切だが、毎月1回、自分で確認する習慣を付けることも必要。こういったツールを使って早期発見に役立てて欲しい」と話す。（上田理子）